定期購読のおすすめ

食農教育　住む。

初等理科教育　保健室　技術教室

学校と地域をつなぐ「総合的な学習の時間」の総合誌

食農教育

二〇〇二年度から全国の小中学校で総合的な学習の時間が本格的にスタートした。この時間は、これまでの教科学習とちがって、学校や地域の特色にあわせて、子どもたちが課題をみつけ、調べ、自ら学んでいく。これまで地域の人にとって学校は敷居が高い場所だったが、「総合」の導入によって、授業のなかで地域の人を学校に招いて話を聞いたり、子どもたちが地域に出かけての体験活動や取材活動が活発になった。この「総合」の導入に先立って、学校と地域に視点ど情報を提供しようと、一九九八年に創刊されたのが「食農教育」誌だ。

二〇〇四年一月号の特集は「校区コミュニティー元年!」。農家・酪農家と学校の教師に、民俗研究家結城登美雄氏をまじえた教育雑誌として異色の座談会や、各地の事例、文部科学省が二〇〇五年度より実施する「地域子ども教室推進事業」の紹介などを通して、学校を核にした地域のまとまり＝校区コミュニティーをつくる視点が示されている。

巻頭特集とは別に、「素材研究」という図解中心の小特集があり、ダイズ、ワタ、草木染めなど、毎号一つの教材を取り上げて、学校でできる簡単な栽培法や加工法、種や道具の入手先、歴史や文化を学ぶ視点などが紹介されていて、大変便利。学校での授業だけでなく、地域や家庭で楽しむうえでも参考になる。

【最近号の特集より】
30号・2003年11月　素材研究・ワタ
保存食から地域が見える
29号・2003年9月　素材研究・イモ
江戸が教える食と環境の未来
28号・2003年7月　素材研究・ソバ
お店屋さんには知恵がいっぱい
27号・2003年5月　素材研究・カイコ
地域みんなで校庭改造
26号・2003年4月　増刊号
バケツ稲　12ヵ月のカリキュラム
編集・農文協、年7回刊（奇数月＋増刊号）、A5判、定価800円・年間5600円

身の丈にあった家を造る／住まうための実用＆文化誌

住む。

住まいは生き方。建てて終わりではなく、住み手が育てていくもの。では、これからの日本でどんな住まい方ができるのだろう?そんな問いかけを読者と共に考える雑誌「住む。」が静かに愛読者を集めている。

●これまでの内容

これまでの特集では「正直な家」「耕す家」「家の一生、始末のいい家」など家そのものを見つめる企画が好評。住まい方を伝える「食は家にあり」『手の仕事、時間の力』なども味わい深い。山を育てる仕事、家を建てる仕事の現在を伝える「家をつくるなら、近くの山の木で。」「聞き書き　棟梁の木の家づくり」は創刊以来の人気連載。伝統を大切にし、新しい技術も取り込む知恵が満載だ。

●読者の読み方

「読むたびに、ほっとした気持ちになります。雑音のない世界。そんな感じでしょうか」（岩手県OS様、三〇代女性）「何べんも読み返します。つくづく、もっとゆっくりと暮らしを楽しみたいと思います」（東京都KK様、五〇代女性）「住まい（器）に留まらず衣食～精神的なものへのつながりを感じます。最近ゴテゴテしたエコ雑誌の創刊が多いですが、ホッとします」（愛知県OK様、四〇代女性）――エコも消費の対象になってしまう現代におかしさを感じる人は多い。季節の巡りに合わせた季刊というサイクルもよいようだ。

●今後の企画

二〇〇四年も「木の家スタンダード」「働く庭」「その家に一生、住めますか?」「セミ・セルフビルドの家」「エコ洗濯術」などの特集が予定されている。変わらないものと新しいもののどちらにも大切なものを見つけるライフスタイル誌。じっくり読みたい。

【最新号】7号・2003秋
特集・「耕す」家。
【住宅実例】週末の田園住宅／2階の畑を耕す。／里山の自給菜園　●週末、農を楽しむ人々。／街なかの水田を、耕して守る
【実用講座】ベランダ畑で有機野菜づくり、ほか
発行・泰文館、編集・編集座、季刊、A4変形判、定価1200円・年間4800円

農文協の教育雑誌

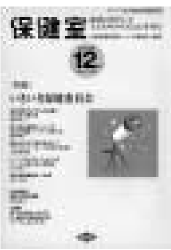
初等理科教育

月刊、B5判、定価700円・年間8400円

子どもたちの自然離れ、理科離れを防ぎたいと願う小学校教員に向けた理科のための専門誌。明日の授業に役立つ、各学年の理科の単元構成・教材のアイデアから、本格的な授業研究まで幅広くカバーしており、理科が得意な先生はもちろん、苦手な先生にも参考になる。今日の教育改革に先立って、子ども自身が問題解決する授業づくりを戦後早くから追究してきた日本初等理科教育研究会の責任編集。竹内均氏、毛利衛氏、市川伸一氏など、インタビューも毎号充実している。

保健室

隔月刊、A5判、定価700円・年間4800円



子どもの心と体の健全な成長を願う養護教諭のための情報交流誌。〝子どもの実態から出発する〟ことを原点とし、「地域に根ざした健康教育の創造」を合言葉としてきた全国養護教諭サークル協議会の責任編集。子どもの背骨の歪みや咬合の異常から最近のLD・ADHDまで、子どものの心身のいまを保健室から的確にとらえる編集視点には定評があり、養護教諭だけでなく、教育に関心をもって地域活動を続けている人に広く読まれている。連載「Dr.藤森の健康日誌」も好評。

技術教室

月刊、A5判、定価720円・年間8640円

人間の生活・生産技術を伝える技術・家庭科のための情報交流誌。豆腐づくりや織物づくりなど、ものづくり教材の開発に長年取り組んできた産業教育研究連盟の責任編集。小学校の技術・家庭科を中心に、小中学校の総合的な学習の時間、理科・社会科、高校での各教科の実践にも役立つ教材がいっぱいだ。「はかる世界を求めて」「職人の文化史」「デザインの文化誌」など連載も充実、産業史・技術史に関心をもつ方にも読者が多い。

参加するまちづくり ワークショップがわかる本

伊藤雅春・大久手計画工房著　〈6つのコミュニケーション術〉で自由で開かれたまちづくり。まちのビジョンを住民が共有し、地域のことは地域で決める知恵と技を伝授。●2800円

百の知恵双書　全20巻・既刊5冊

棚田の謎
田村善次郎・TEM研究所著　民俗学と工学的数量化の融合で、中世以降の農民の英知、人の手の入った自然の豊かさを描き出す。●2800円

住宅は骨と皮とマシンからできている
野沢正光著　住み心地や環境、資源にも配慮し、地域自然や町の記憶をつなぐ家とは…建築家が設計実例から綴る住宅入門。●2800円

目からウロコの日常物観察
野外活動研究会著　店の看板、粗大ゴミ、おばさんファッション…奇妙なモノに刻印された暮らしの諸相を解読。●2800円

時が刻むかたち　樹木から集落まで
奥村昭雄著　自然のリズムから生まれる「かたち」は限りなく複雑で美しい。動植物の形、動きから山里の景観まで人と自然の博物誌。●2800円

真髄は調和にあり　呉清源　碁の宇宙

水口藤雄著　碁は勝負ではなく調和の希求だと説く棋神の魂。その生涯と思想を、新布石・名棋譜を交えて詳説。林海峰・陳祖徳氏寄稿。●3200円　12月上旬刊予

図説 中国文化百科　全20巻・既刊5冊

天翔るシンボルたち　幻想動物の文化誌
張競著　多種多様な一角獣、鳳凰、龍…異形異能の幻想動物に託した古代人の文化的メッセージを読み解く。●3200円

おん目の雫 ぬぐはばや　鑑真和上 新伝
王勇著　命がけの渡日に駆り立てたものとは？　その知られる情熱と当時の中国仏教界の実相を描き出す。●3200円

しじまに生きる野生動物たち
今泉忠明著　写真多数で紹介する中国の動物と人との博物誌。凍土から熱帯林まで[illegible]の動物達の生態と運命。●3200円

イネが語る日本と中国　交流の大河五〇〇〇年
佐藤洋一郎著　最新のDNA鑑定と現地調査による斬新なイネ起源・伝播論が描き出す、複雑な交流の軌跡と未来。●3200円

神と人との交響楽　中国仮面の世界
稲畑耕一郎著　出土する仮面、巫師の仮面、仮面劇など民衆の文化に深く分け入り、知られざる中国文化の古層に迫る。●3200円

ご注文は　農文協〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1　☎03(3585)1141　FAX03(3589)1387　URL=http://www.ruralnet.or.jp/　価格は税込